

タンザニア都市部におけるゴミ処理システム

—モロゴロ市を事例に—

平成 27 年入学
派遣先国：タンザニア
阿部 亮吾

キーワード：ゴミ処理，都市人口増加，民営化，リサイクル

アフリカにおけるゴミ問題

本研究では、アフリカ諸国の都市人口増加、また 2000 年以降の急速な経済成長に着目し、その背後で深刻化しているゴミ処理問題に焦点をあてる。ゴミ処理は一般的に地方行政機関の役割とされることが多いが、地方行政機関がゴミ処理に充てることができる予算では、人口増加に比例するゴミを効果的に収集することは難しい(UN-Habitat 2000)。さらに経済成長によって多様化した生活様式や製品は、ゴミの中身も多様化させた。したがってただゴミを収集するだけではなく、分別やリサイクルといった、収集後の適切な処理の必要性が高まっている。このようなゴミの量と質の変化にどう対処していくかという問題は、地方行政機関にとって喫緊の課題であるといえる。

研究目的

東アフリカのタンザニアも、他のアフリカ諸国と同様に、民間企業などを活用してゴミ処理の課題に取り組んできた。首都都市ダルエスサラームでは、1991 年に都市開発の一環として民間セクターを活用したゴミ処理システムを導入し、ゴミの回収率やリサイクル率を大幅に向上させた。タンザニア政府は 1998 年に新たに全国 10 か所の地方都市に同様の都市開発計画を導入しようとした(Myers 2005)。本研究は、タンザニアの都市部に波及した民営化が、地方行政機関のゴミ処理システムにどのように反映されているのかを明らかにすることを目的とする。

地方都市モロゴロ市のゴミ処理システムの概要

1998 年に都市開発計画が導入された地方都市のうち、モロゴロ州モロゴロ都市県モロゴロ市を調査地として選定した。市内のゴミ処理の現状を把握するため、調査者は市内の 29 区のうち 19 区で保健担当の職員から聞き取り調査をおこなった。

市内のゴミ処理の民間委託は約 10 年前から始まった。家庭や商店から出たゴミは、各区内の住民約 10 人で構成される小規模なグループによって中間収集所に運ばれ、そこから彼らが手配した市所有のトラックで最終処分場へ運ばれる(写真 1)。しかし中間収集所を持たず、月に 2, 3 回トラックで域内を回り、ゴミを集める区もあった。職員やグループのメンバーへの聞き取りから、料金やゴミ収集頻度がグループごとで異なること、料金徴収に関するトラブルやトラック不足などの問題、そして収集活動がない区も周縁部を中心に存在することが明らかになった(写真 2)。



写真1 家庭から出されるゴミ(筆者撮影)



写真2 トラック不足で、ゴミが散乱している区(Sabasaba)の中間収集所(筆者撮影)

調査では市内のゴミ処理に携わる各グループの独立性の高さがうかがえた。彼らが担当地区から徴収した料金は、給料やトラックの使用料となるが、料金や活動記録などを区や市に報告する義務はない。収集を委託されているグループは市のゴミ処理プロセスの一部を担っているが、市とグループの間で情報共有や資金の授受、人材交流などはなく、グループは、収集活動をゴミ処理システムへの参加というより、経済活動の一つとみなしていた。

家庭ゴミや処分場に運ばれたゴミの観察から、ゴミにはリサイクルやコンポスト(有機物を微生物や菌によって発酵させて作る堆肥)が可能なものも多く含まれているが、グループでこれらの活動に取り組んでいる例は少ないことが確認できた。リサイクルやコンポストはグループにとって新たな活動資金確保の手段となりうるが、販路確保の困難さが障害になっていることが聞き取りから明らかになった。

反省と課題

本調査では、ゴミ処理システムの大枠を捉えることができたが、ゴミの量やグループの活動記録といったデータが不足している。また、区への聞き取り調査ではリサイクルについての具体的な情報を得ることができなかったが、市内で個人によってプラスチック製品を収集し、販売している様子が観察された(写真3)。今回はグループのゴミ収集活動に焦点を当てたが、上記の観察結果を踏まえて、リサイクルに関しては市やグループではなく、個人事業者に注目する必要があることがわかった。

次回の調査では、グループや個人事業者の収集やリサイクル、コンポストといった活動への参加を通じて、定量的ならびに定性的データを収集する。例えば、ある区におけるグループの変遷や経済状況、個人事業者の収入や労働環境、グループや個人事業者の諸活動に対する地域住民の認識である。参与観察で得られたデータから、ゴミ処理システムの民営化がどのように導入され、地域住民からどう受容されているかを明らかにする。



写真3 個人事業者によって集められたプラスチック製品(筆者撮影)

参考文献

Myers, G. A. 2005. *Disposable Cities: Garbage, Governance and Sustainable Development in Urban Africa*. Aldershot: Ashgate.

UN-Habitat. http://www.waste.nl/sites/waste.nl/files/product/files/swm_in_world_cities_2010.pdf

(2015年12月27日)